

令和4年度在宅医療・介護連携推進事業
入退院時情報共有・連携ルール作業部会実施要項

1 目的

切れ目ない在宅医療と介護連携体制を構築するため、地域ケア推進会議にて、看取り体制の目指す姿を「本人が望む場所で、自分らしく最後まで今を生きる」と設定した。また、令和2年度に実施した「安城市における看取り・多職種連携に関するアンケート調査」の結果より「病院側と在宅側で、入退院時の連携について認識の相違がある」という問題が上がった。入退院時に多職種が情報を適時・適切に共有し、本人・家族の意思決定支援を継続的に行える環境を整える必要がある。

2 作業部会協力者

病院部会、医師会部会、薬剤師部会、訪問看護部会、ケアマネット部会、リハビリネット部会、施設部会代表者

3 開催頻度、時間

令和4年4月以降、概ね月1回程度、1回あたり1～1時間半程度

4 開催期間

概ね1年程度

5 活動内容

入退院時情報共有・連携ルール・エチケット集作成、専門職への周知啓発

6 事務局

高齢福祉課地域支援係、在宅医療サポートセンター

入退院時情報共有・連携ルール作業部会名簿

	所属	氏名	職種
1	愛知県厚生農業協同組合連合会 安城更生病院	小口 武 (オブザーバー)	医師
2	鳥居医院	鳥居 正芳 (オブザーバー)	医師
3	あおい薬局	服部 宏明	薬剤師
4	愛知県厚生農業協同組合連合会 安城更生病院	前田 美都里 (部会長)	社会福祉士
5	愛知県厚生農業協同組合連合会 安城更生病院	永井 知直実	保健師
6	社会医療法人財団新和会 八千代病院	牧野 希	社会福祉士
7	社会医療法人財団新和会 八千代病院	坂田 徳一	看護師
8	社会医療法人財団新和会 八千代病院	小笠原 巧	理学療法士
9	医療法人安祥会 松井整形外科	松波 恵美子	看護師
10	日だまり訪問看護ステーション	山田 万理	看護師
11	社会福祉法人 愛生館 在宅介護センター ケアプランセンターひまわり・安城	渡邊 祐己 (副部会長)	主任介護支援専門員
12	医療法人 仁泉会 池浦ケアプラン	中根 まゆみ	主任介護支援専門員
13	安城市地域包括支援センター更生	青木 秀二	社会福祉士
14	地域密着型特別養護老人ホームこころくぼり	杉浦 光亮	生活相談員